

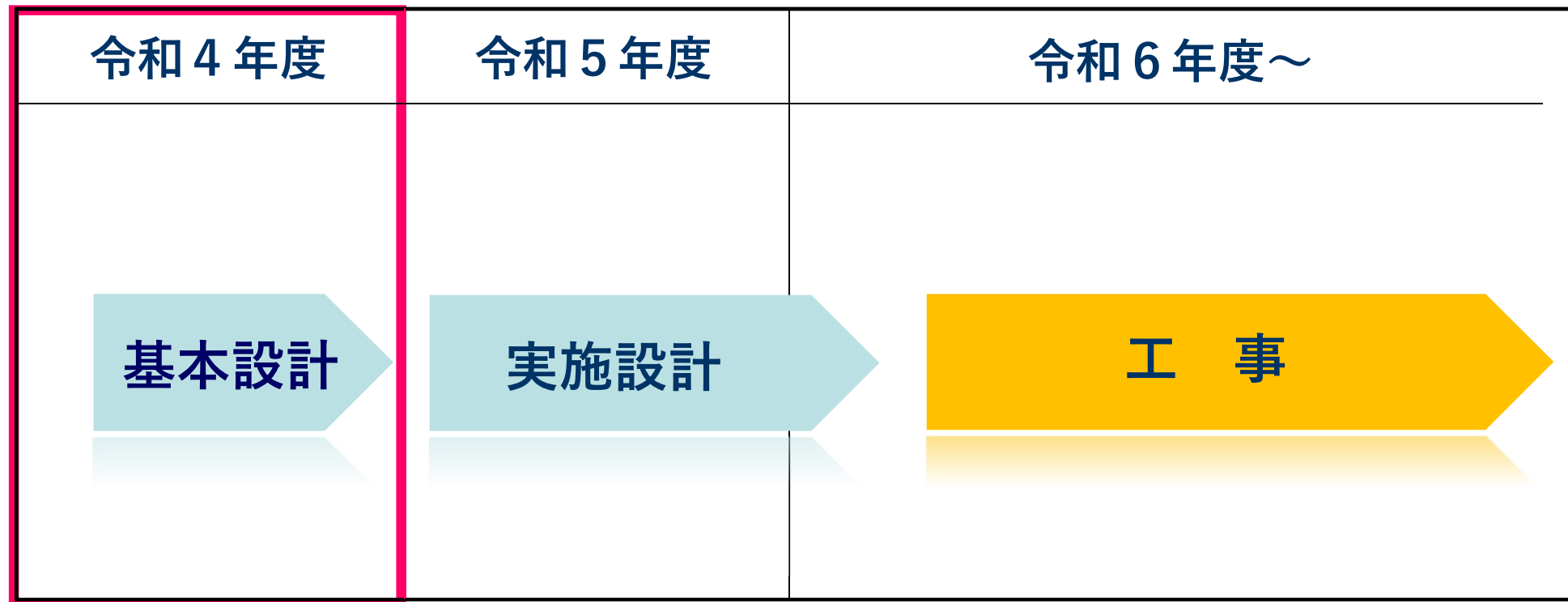
新琴似北中学校 新校舎の配置計画案について

札幌市教育委員会

- 1 事業スケジュール
- 2 改築における施設整備の目標
- 3 近年の整備事例の紹介
- 4 配置案の検討について

- 1 事業スケジュール**
- 2 改築における施設整備の目標
- 3 近年の整備事例の紹介
- 4 配置案の検討について

事業スケジュール



- 1 事業スケジュール
- 2 改築における施設整備の目標**
- 3 近年の整備事例の紹介**
- 4 配置案の検討について

改築における施設整備の目標

1 多様で柔軟な学習空間

多様な学習活動を展開できる教室空間

2 健やかな学習・生活環境

快適で、温かみのある空間
防犯や施設の安全性への配慮

3 地域との円滑な連携

学校と地域の交流
地域の防災拠点としての整備

4 環境への配慮

屋根や外壁の高断熱化、高効率照明の導入

①

多様で柔軟な学習空間

ワークスペース（普通教室のオープン化）



中央小学校

（写真：教育委員会で撮影及び各学校HPより）

①

多様で柔軟な学習空間

ワークスペース（普通教室を閉じて使用する場合）



芸術の森小学校

（写真：教育委員会で撮影及び各学校HPより）

①

多様で柔軟な学習空間

多目的室（少人数対応）



新陽小学校

（写真：教育委員会で撮影及び各学校HPより）

①

多様で柔軟な学習空間

多目的室（ICT対応）



中央小学校

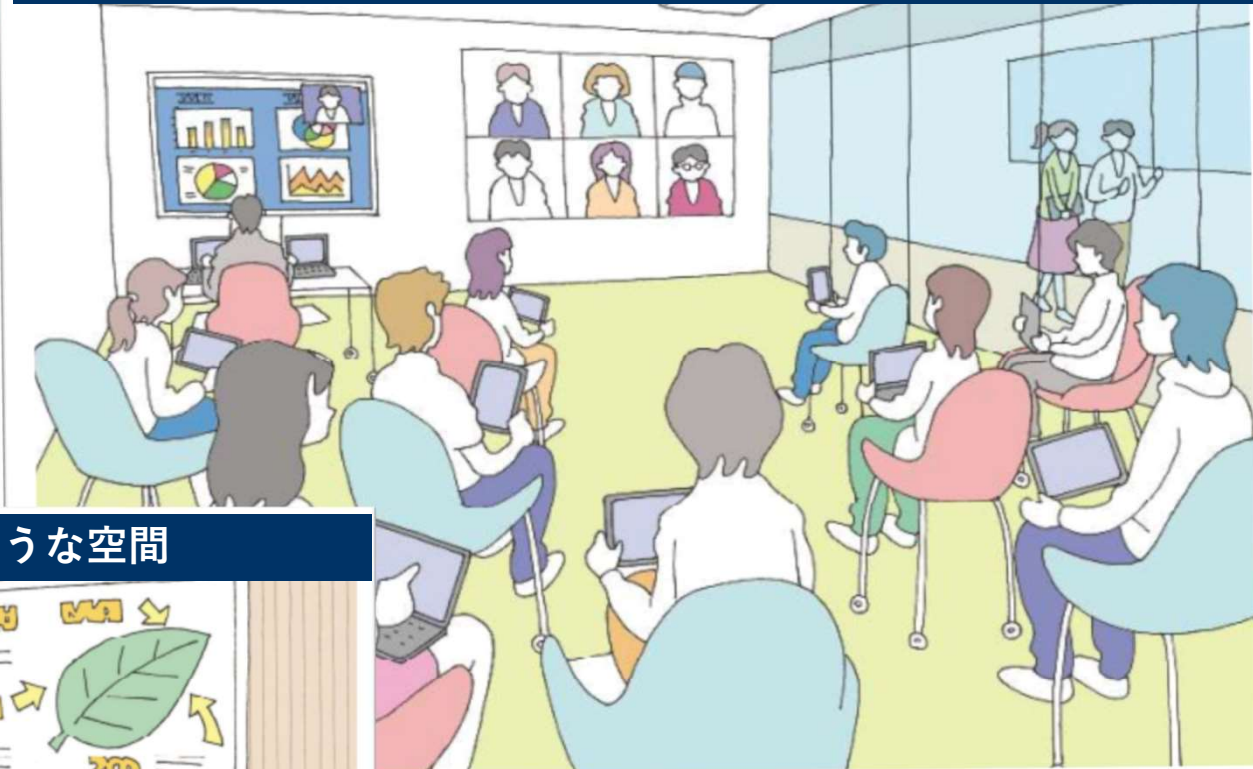
(写真：教育委員会で撮影及び各学校HPより)

①

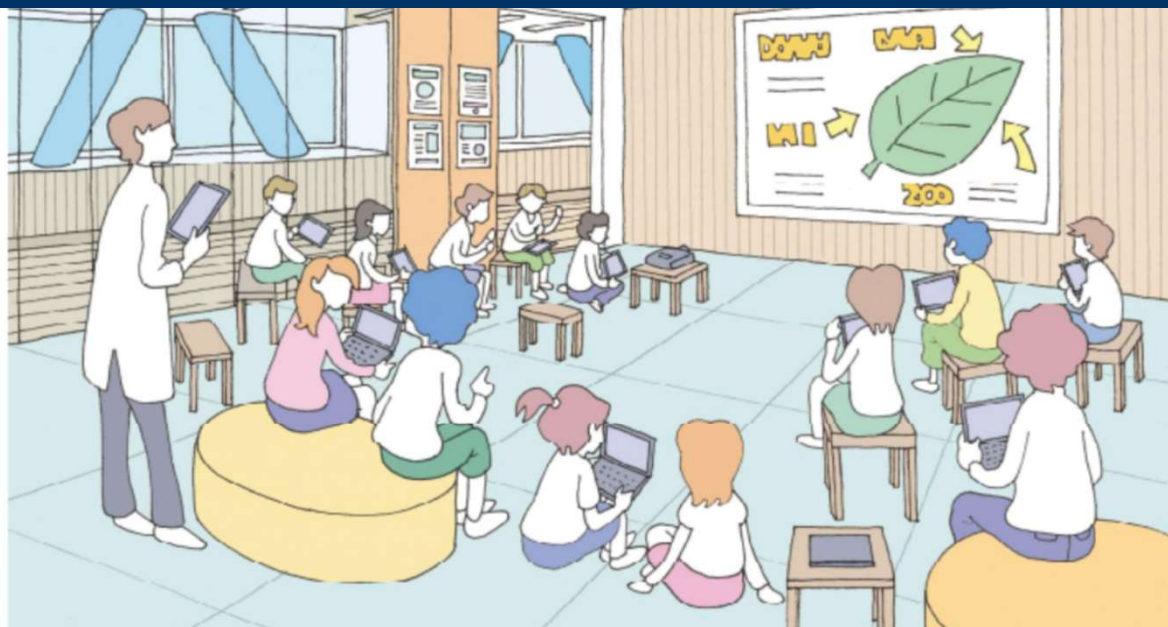
多様で柔軟な学習空間

多目的室（ICT対応）

設備や家具の工夫による多様な学習活動の展開・教室環境の充実



快適で温かみのあるリビングのような空間



(画像：「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」
(令和4年3月学校施設の在り方に関する調査研究協議会会議)より)

②

健やかな学習・生活環境

バリアフリー対策



エレベーター



多目的トイレ

3

地域との円滑な連携

災害時の避難所

1 受水槽の非常用水栓

2 ガス変換機接続口

3 災害用備蓄庫



(写真：教育委員会で撮影及び各学校HPより)

高効率

電灯：Hf型照明器具
窓側電灯：明るさセンサー

断熱

屋上：改質アスファルトシート防水
硬質ウレタンフォーム100mm



多目的室：可動間仕切り

照度

教室：高窓付きパーティション

高効率

職員室・特別教室：【暖房】FF式ガス暖房機、【冷房】なし
教室・多目的室：【暖房】FF式ガス暖房機、【冷房】なし
職員室・教室：全熱交換型換気

節水

手洗い：泡沫水洗
大便器：擬音装置、小便器：自動水洗式

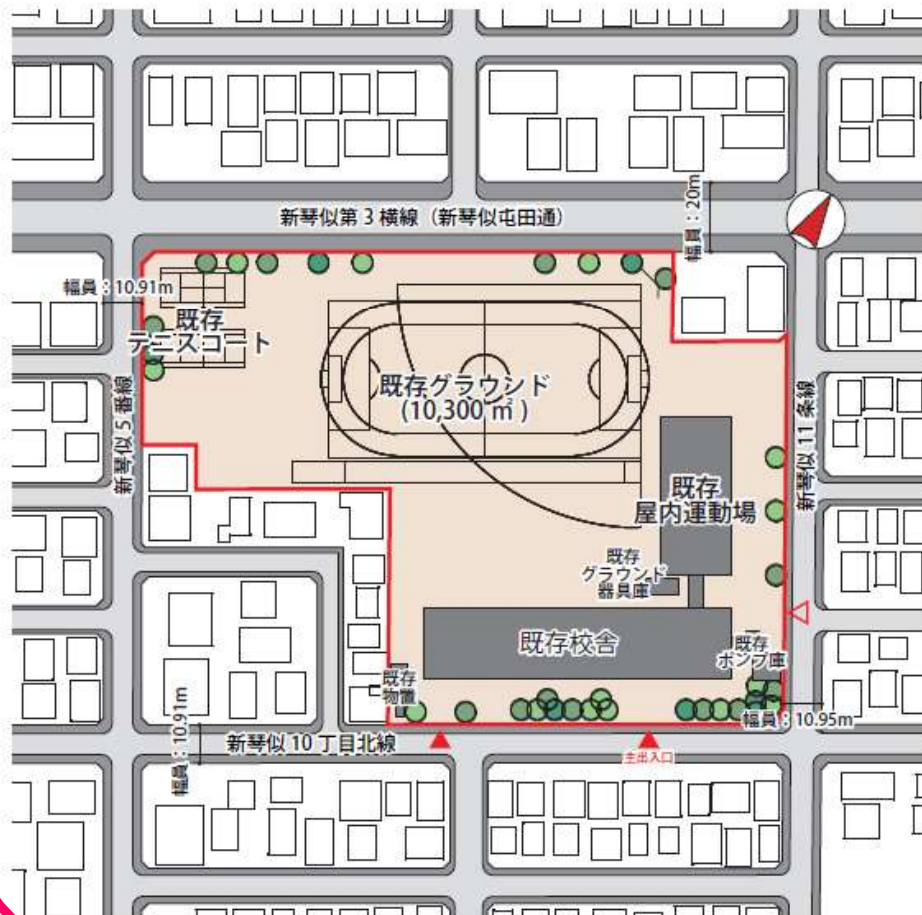
- 1 事業スケジュール
- 2 改築における施設整備の目標
- 3 近年の整備事例の紹介
- 4 配置案の検討について**

■計画地

住 所：札幌市北区新琴似10条10丁目2番46号
敷地面積：19,297 m²
用途地域：第一種低層住居専用地域

■周辺の状況

敷地外周部は北西側が新琴似第3横線（新琴似屯田通）に接しており、道路幅員は20mです。また、その他の道路は幅員約11mとなっております。
敷地に対して道路向いに住宅街が広がっており、南北の一部は住宅が隣接しています。



【 既存建物配置 】

■現況敷地及び建物

- ・現在の校舎は、昭和47年に鉄筋コンクリート造地上4階建てで建設しています。昭和51年に増築を行っています。
- ・屋内運動場は、昭和48年に建設しています。
- ・校舎の主出入口は南東側となっています。

■施設計画概要

	既 存	改 築	
校 舎	6,960 m ²	6,234 m ²	※給食室 350 m ² を含む
屋内運動場	1,057 m ²	1,337 m ²	※体育館開放用施設 100 m ² を含む
武 道 場	0 m ²	250 m ²	

■施設諸室

①校 舎

- ・普通教室：11教室＋ワークスペース
- ・特別支援学習室：2教室＋プレイルーム
- ・特別教室：13教室
第1理科室、第2理科室、第1音楽室、第2音楽室、美術室、技術室、被服室、調理室、図書室、特別活動室、教育相談室、進路指導室、心の教室
- ・多目的室：3教室
多目的室、ICT対応、少人数対応
- ・管理諸室
校長室、職員室、印刷室、保健室、用務員室、会議室、職員更衣室（男女別）、厨芥庫、塵芥庫、リサイクル庫、教材室、物品庫、除雪機置場等
- ・その他
昇降口、PTA室、ポンプ室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター
トイレ（男子用、女子用、多目的、職員用）
※特別活動室、会議室は普通教室に転用可能な配置とする。

②屋内運動場

アリーナ、器具庫、更衣室（男女別）、体育準備室、開放用玄関、指導員控室

③武 道 場

④屋外環境施設

グラウンド用屋外物置

新琴似北中学校改築ほか工事基本設計 第1回改築検討協議会資料

01

■計画地

住 所：札幌市北区新琴似10条10丁目2番46号

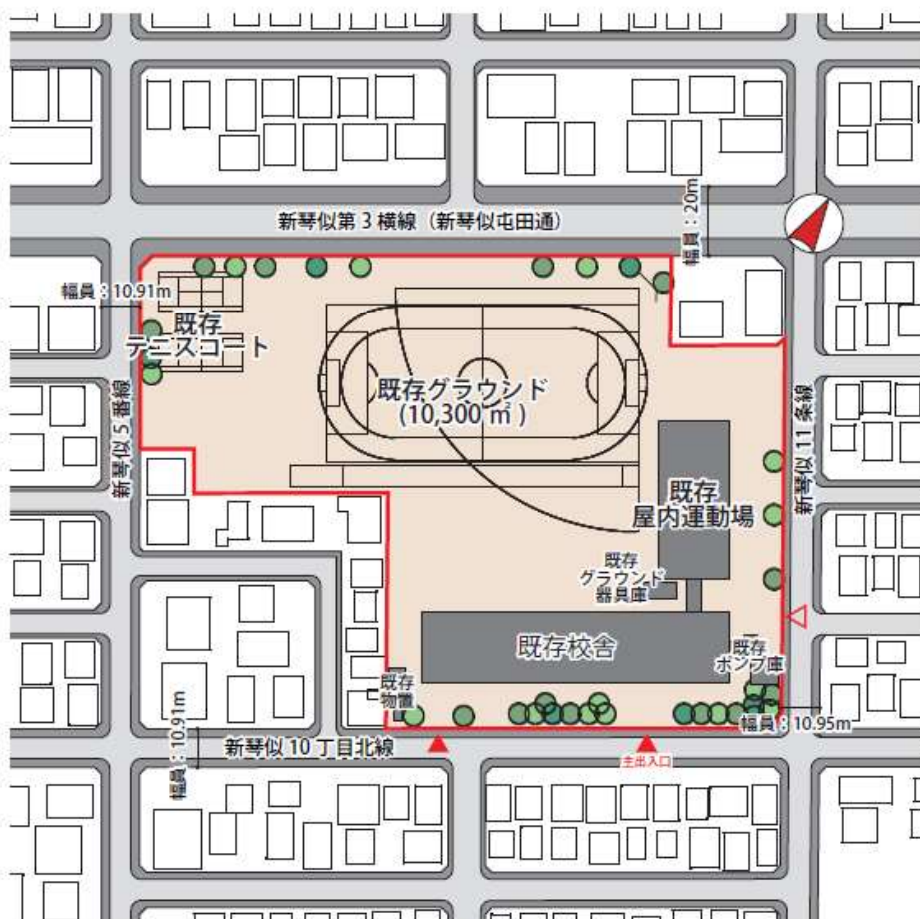
敷地面積：19,297 m²

用途地域：第一種低層住居専用地域

■周辺の状況

敷地外周部は北西側が新琴似第3横線（新琴似屯田通）に接しており、道路幅員は20mです。また、その他の道路は幅員約11mとなっております。

敷地に対して道路向いに住宅街が広がっており、南北の一部は住宅が隣接しています。



【 既存建物配置 】

■現況敷地及び建物

- ・現在の校舎は、昭和47年に鉄筋コンクリート造地上4階建てで建設しています。昭和51年に増築を行っています。
- ・屋内運動場は、昭和48年に建設しています。
- ・校舎の主出入口は南東側となっております。

■施設計画概要

	既 存	改 築	
校 舎	6,960 m ²	6,234 m ²	※給食室 350 m ² を含む
屋内運動場	1,057 m ²	1,337 m ²	※体育館開放用施設 100 m ² を含む
武 道 場	0 m ²	250 m ²	

■施設諸室

①校 舎

- ・普通教室：11教室＋ワークスペース
- ・特別支援学習室：2教室＋プレイルーム
- ・特別教室：13教室
第1理科室、第2理科室、第1音楽室、第2音楽室、美術室、技術室、被服室、調理室、図書室、特別活動室、教育相談室、進路指導室、心の教室
- ・多目的室：3教室
多目的室、ICT対応、少人数対応
- ・管理諸室
校長室、職員室、印刷室、保健室、用務員室、会議室、職員更衣室（男女別）、厨芥庫、塵芥庫、リサイクル庫、教材室、物品庫、除雪機置場等
- ・その他
昇降口、PTA室、ポンプ室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター
トイレ（男子用、女子用、多目的、職員用）
※特別活動室、会議室は普通教室に転用可能な配置とする。

②屋内運動場

アリーナ、器具庫、更衣室（男女別）、体育準備室、開放用玄関、指導員控室

③武 道 場

④屋外環境施設

グラウンド用屋外物置

■計画地

住 所：札幌市北区新琴似 10 条 10 丁目 2 番 46 号

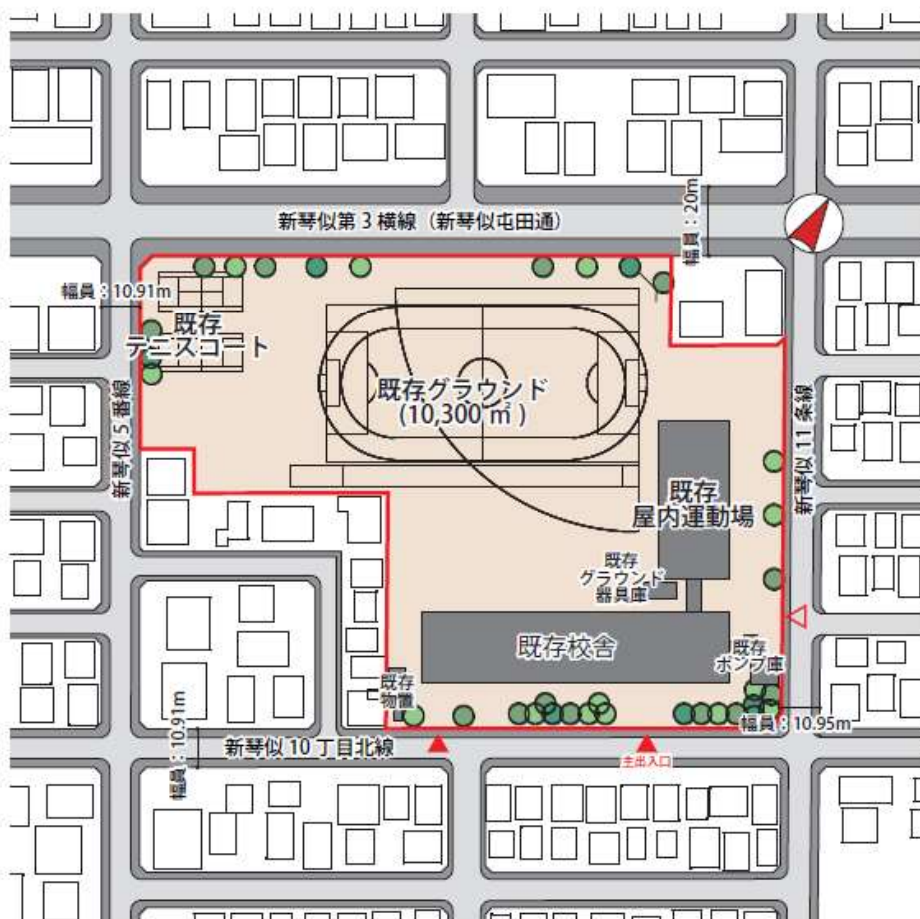
敷地面積：19,297 m²

用途地域：第一種低層住居専用地域

■周辺の状況

敷地外周部は北西側が新琴似第3横線（新琴似屯田通）に接しており、道路幅員は20mです。また、その他の道路は幅員約11mとなっております。

敷地に対して道路向いに住宅街が広がっており、南北の一部は住宅が隣接しています。



【 既存建物配置 】

■現況敷地及び建物

- ・現在の校舎は、昭和47年に鉄筋コンクリート造地上4階建てで建設しています。昭和51年に増築を行っています。
- ・屋内運動場は、昭和48年に建設しています。
- ・校舎の主出入口は南東側となっております。

■施設計画概要

	既 存	改 築	
校 舎	6,960 m ²	6,234 m ²	※給食室 350 m ² を含む
屋内運動場	1,057 m ²	1,337 m ²	※体育館開放用施設 100 m ² を含む
武 道 場	0 m ²	250 m ²	

■施設諸室

①校 舎

- ・普通教室：11 教室 + ワークスペース
- ・特別支援学習室：2 教室 + プレイルーム
- ・特別教室：13 教室
第1理科室、第2理科室、第1音楽室、第2音楽室、美術室、技術室、被服室、調理室、図書室、特別活動室、教育相談室、進路指導室、心の教室
- ・多目的室：3 教室
多目的室、ICT 対応、少人数対応
- ・管理諸室
校長室、職員室、印刷室、保健室、用務員室、会議室、職員更衣室（男女別）、厨芥庫、塵芥庫、リサイクル庫、教材室、物品庫、除雪機置場等
- ・その他
昇降口、PTA 室、ポンプ室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター
トイレ（男子用、女子用、多目的、職員用）
※特別活動室、会議室は普通教室に転用可能な配置とする。

②屋内運動場

アリーナ、器具庫、更衣室（男女別）、体育準備室、開放用玄関、指導員控室

③武 道 場

④屋外環境施設

グラウンド用屋外物置

■計画地

住 所：札幌市北区新琴似10条10丁目2番46号

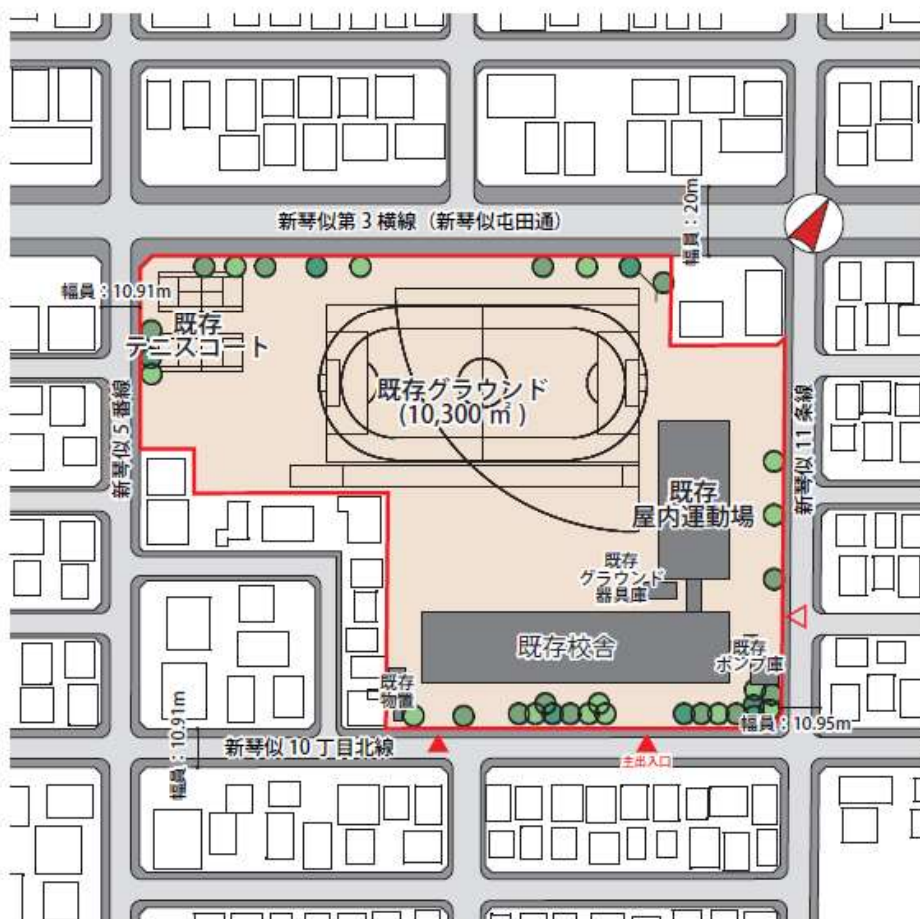
敷地面積：19,297 m²

用途地域：第一種低層住居専用地域

■周辺の状況

敷地外周部は北西側が新琴似第3横線（新琴似屯田通）に接しており、道路幅員は20mです。また、その他の道路は幅員約11mとなっております。

敷地に対して道路向いに住宅街が広がっており、南北の一部は住宅が隣接しています。



【 既存建物配置 】

■現況敷地及び建物

- ・現在の校舎は、昭和47年に鉄筋コンクリート造地上4階建てで建設しています。昭和51年に増築を行っています。
- ・屋内運動場は、昭和48年に建設しています。
- ・校舎の主出入口は南東側となっています。

■施設計画概要

	既存	改築	
校 舎	6,960 m ²	6,234 m ²	※給食室 350 m ² を含む
屋内運動場	1,057 m ²	1,337 m ²	※体育館開放用施設 100 m ² を含む
武 道 場	0 m ²	250 m ²	

■施設諸室

①校 舎

- ・普通教室：11教室＋ワークスペース
- ・特別支援学習室：2教室＋プレイルーム
- ・特別教室：13教室
第1理科室、第2理科室、第1音楽室、第2音楽室、美術室、技術室、被服室、調理室、図書室、特別活動室、教育相談室、進路指導室、心の教室
- ・多目的室：3教室
多目的室、ICT対応、少人数対応
- ・管理諸室
校長室、職員室、印刷室、保健室、用務員室、会議室、職員更衣室（男女別）、厨芥庫、塵芥庫、リサイクル庫、教材室、物品庫、除雪機置場等
- ・その他
昇降口、PTA室、ポンプ室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター、トイレ（男子用、女子用、多目的、職員用）
※特別活動室、会議室は普通教室に転用可能な配置とする。

②屋内運動場

アリーナ、器具庫、更衣室（男女別）、体育準備室、開放用玄関、指導員控室

③武 道 場

④屋外環境施設

グラウンド用屋外物置

■配置計画案の前提条件

「札幌市小・中学校施設整備基本設計指針」、「札幌市立新琴似北中学校改築基本計画」及び敷地の周辺環境や現状建物の配置から、施設配置計画を進めるための前提条件を整理します。



1) 安心・安全で機能的な学校

- ・給食運搬車、管理車両の動線と生徒の動線を分離します。
- ・屋内運動場は緊急避難施設としての機能性に配慮します。

2) 周辺環境との調和

- ・周辺環境への日影が最小限となるよう配慮した校舎とします。
- ・普通教室及び特別支援学習室は日照に配慮し、南面・東面からの採光可能な配置とします。

3) 屋外施設

- ・グラウンドは現状程度の面積を確保します。

4) 経済性

- ・仮設校舎の有無、工事規模、階数など、経済性に配慮した配置とします。

5) 工期・施工計画

- ・生徒の学習、活動への影響が最小限となるよう配慮した工期、施工計画とします。
- ・工事中の生徒への安全性を確保した工期、施工計画とします。

■現在の場所に新しい校舎を建替える場合 現位置計画図



<問題点・課題等>

- ・3年間の中学校生活を仮設校舎のみで過ごす生徒が生じる
- ・工期が長くなる
- ・グラウンドの使用不可期間が長くなる
- ・校舎の日影が北側敷地に影響を与える
- ・引越しが2回となる
- ・仮設校舎の建設で多額の費用が必要となる

現在と同じ場所に新しい校舎を建設する場合、多くの問題・課題が見られます。



現在と同じ場所には建替えず、敷地内の別の場所に建てる配置について検討を行います。

■配置計画案の前提条件

「札幌市小・中学校施設整備基本設計指針」、「札幌市立新琴似北中学校改築基本計画」及び敷地の周辺環境や現状建物の配置から、施設配置計画を進めるための前提条件を整理します。



1) 安心・安全で機能的な学校

- ・給食運搬車、管理車両の動線と生徒の動線を分離します。
- ・屋内運動場は緊急避難施設としての機能性に配慮します。

2) 周辺環境との調和

- ・周辺環境への日影が最小限となるよう配慮した校舎とします。
- ・普通教室及び特別支援学習室は日照に配慮し、南面・東面からの採光可能な配置とします。

3) 屋外施設

- ・グラウンドは現状程度の面積を確保します。

4) 経済性

- ・仮設校舎の有無、工事規模、階数など、経済性に配慮した配置とします。

5) 工期・施工計画

- ・生徒の学習、活動への影響が最小限となるよう配慮した工期、施工計画とします。
- ・工事中の生徒への安全性を確保した工期、施工計画とします。

■現在の場所に新しい校舎を建替える場合

現位置計画図



<問題点・課題等>

- ・3年間の中学校生活を仮設校舎のみで過ごす生徒が生じる
- ・工期が長くなる
- ・グラウンドの使用不可期間が長くなる
- ・校舎の日影が北側敷地に影響を与える
- ・引越しが2回となる
- ・仮設校舎の建設で多額の費用が必要となる

現在と同じ場所に新しい校舎を建設する場合、多くの問題・課題が見られます。



現在と同じ場所には建替えず、敷地内の別の場所に建てる配置について検討を行います。



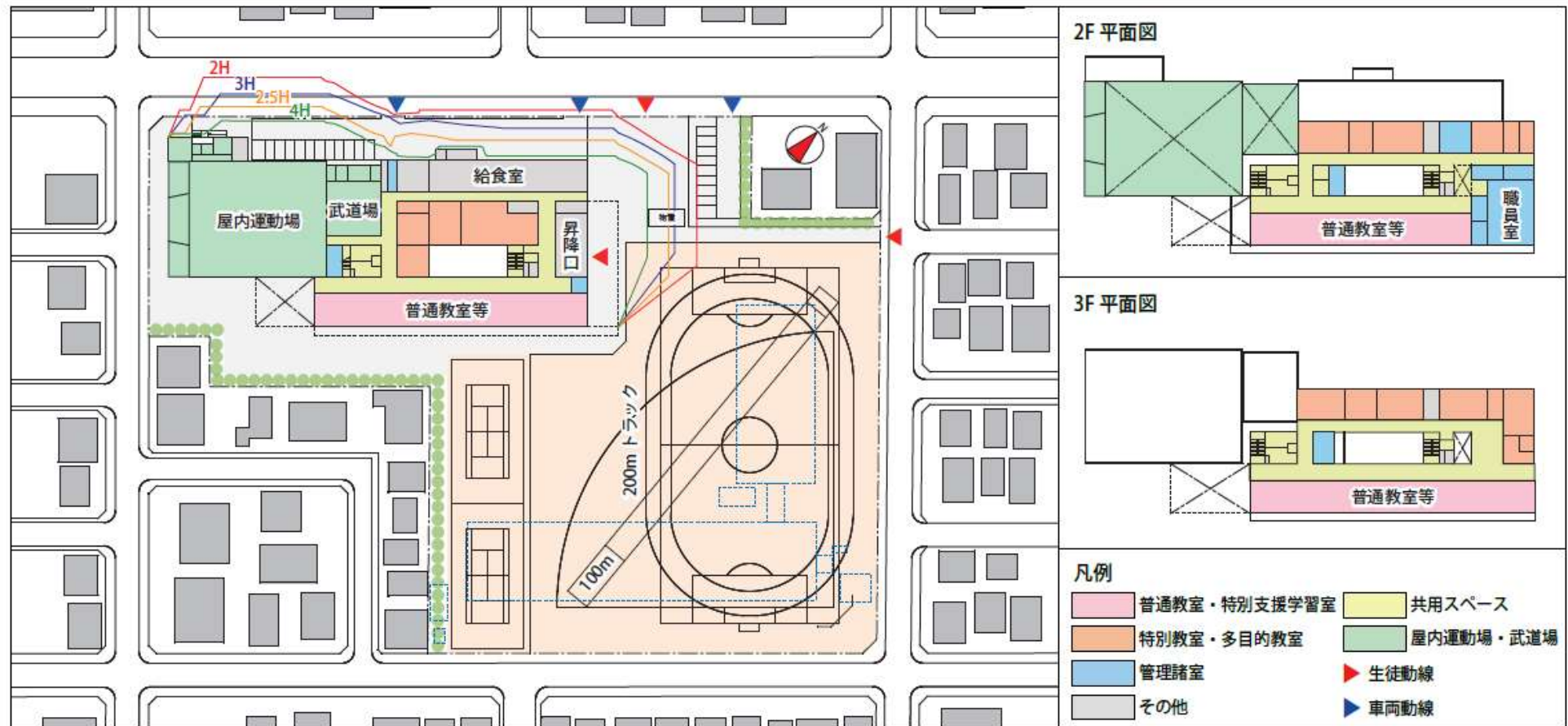
現位置での建替えについて

問題点・課題

- ✓ 3年間の中学校生活を仮設校舎のみで過ごす生徒が生じる
- ✓ 工事の工期が長くなる
- ✓ グラウンドの使えない期間が長くなる
- ✓ 校舎の日影が北側敷地に影響を与える
- ✓ 引っ越しが2回になる
- ✓ 仮設校舎を建設するため、多額の費用が必要

■配置計画案

改築案



安心・安全

・歩車分離が可能

経済性

・仮設校舎が不要

周辺環境との
調和

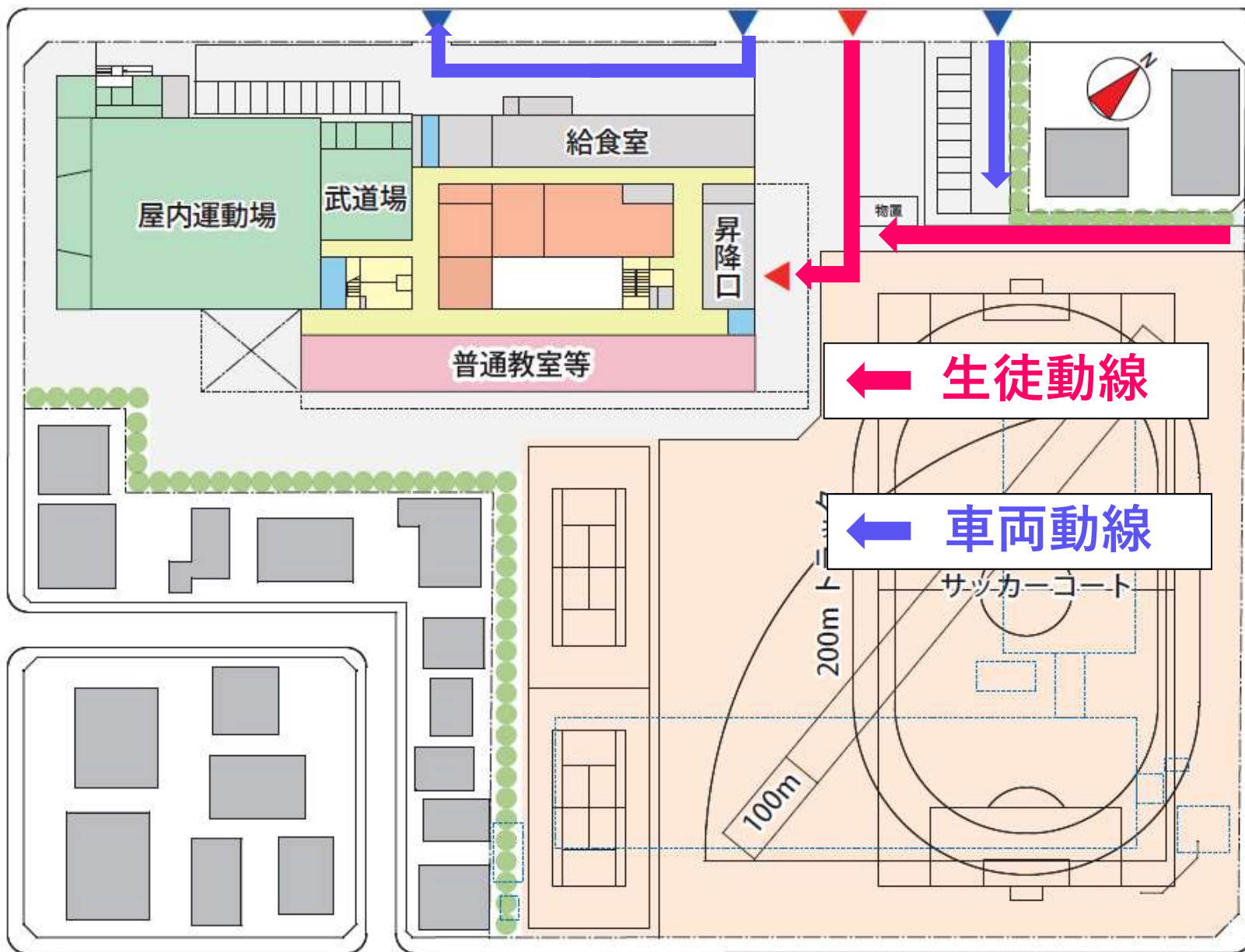
・周囲の住宅地に対し配慮
・校舎の北側を低くすることで日影に配慮

工期・
施工計画

・仮設校舎を建てる場合より、工期が短い

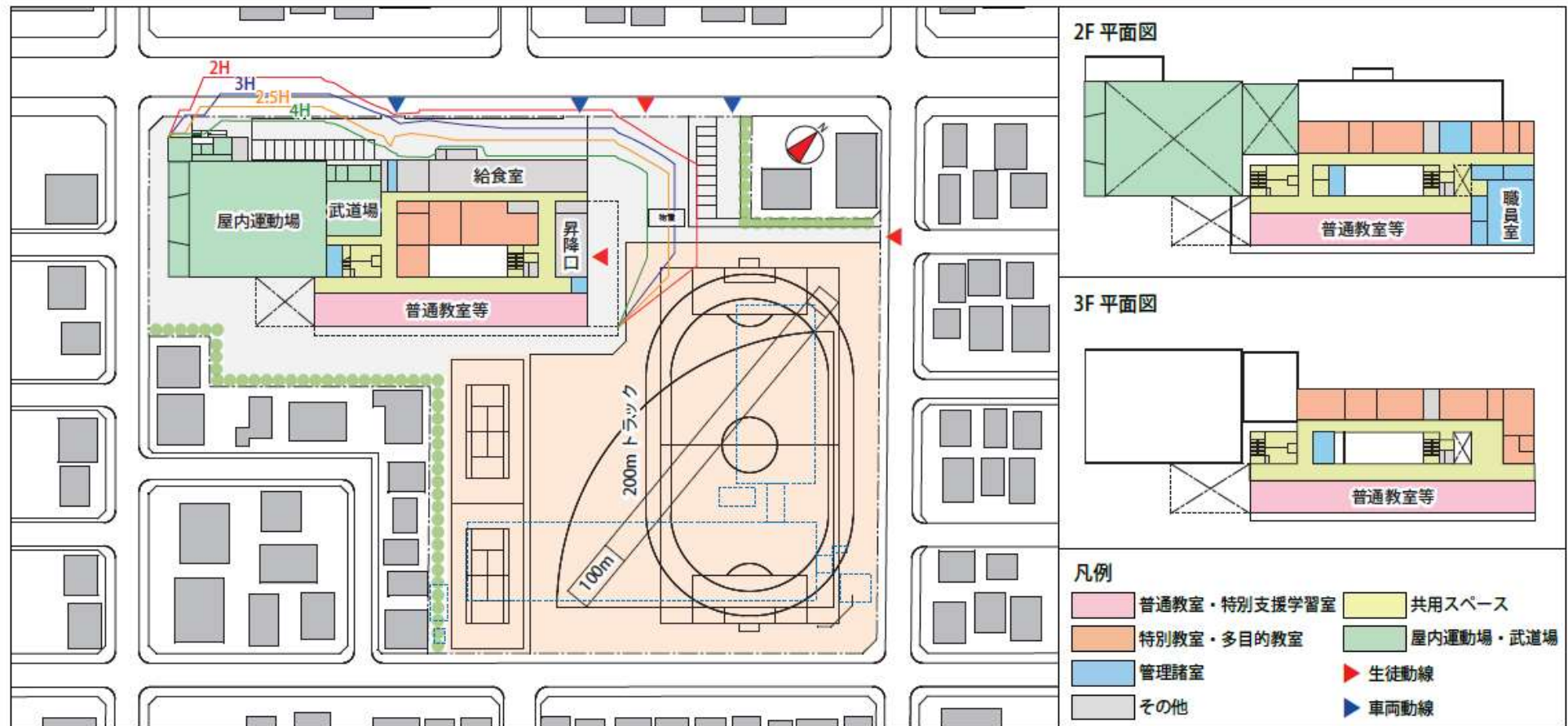
屋外施設
(グラウンド)

・現状のグラウンドと同等の面積を確保



■配置計画案

改築案

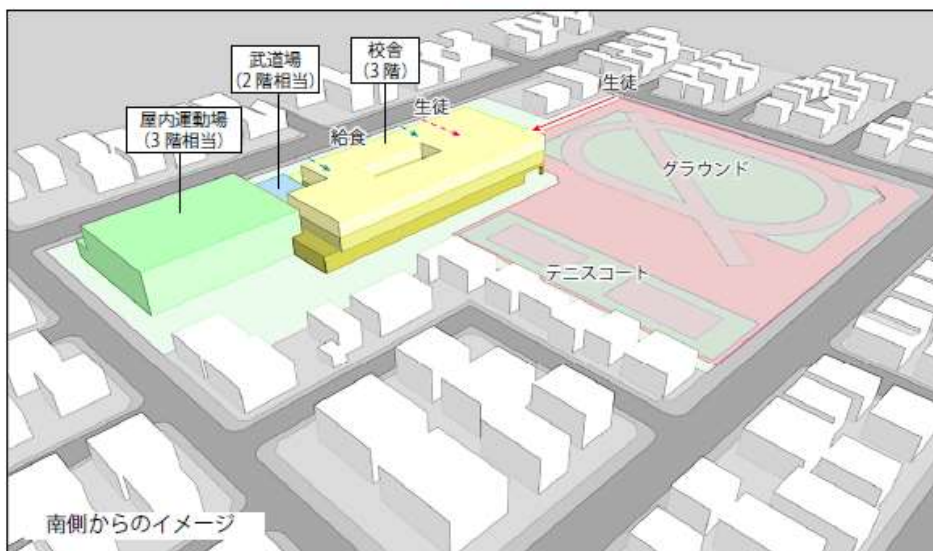


- 安心・安全
 - ・歩車分離が可能
- 周辺環境との調和
 - ・周囲の住宅地に対し配慮
 - ・校舎の北側を低くすることで日影に配慮
- 屋外施設(グラウンド)
 - ・現状のグラウンドと同等の面積を確保

- 経済性
 - ・仮設校舎が不要
- 工期・施工計画
 - ・仮設校舎を建てる場合より、工期が短い

■完成イメージ図

改築案



※イメージ図のため、実際と異なる場合があります